

# 東区故事



## なかだ 中田町

中田町は室町時代には既に中田郷として記録に残っています。天王村に属していましたが、江戸時代に長上郡中田村として独立しました。

中田という地名は、昔、田の中にあつた村ということから付けられたと言われています。また、中田における旧家木村家の旧姓が中田だったため、地名になったという説もあります。

旧家木村家の当主は、浜松藩主松平伯耆守資俊と親交があり、1703年母屋が全焼した際に、仮屋を建ててもらったと記録に残っています。

## ながつる 長鶴町

長鶴町は和田地区の最も南に位置し、南区の飯田地区にある鶴見町と青屋町に挟まれたような位置にあります。

浜松に合併する前は浜名郡和田村長鶴でした。橋田村、和田村の大字を経て浜松市合併後の昭和30年に長鶴町となりました。

今は、国道1号が町域の真中を南北に走り、すっかり町の環境が変化してしまいましたが、昔は柳やカヤが生えていた湿地帯であつたと伝えられています。その湿地帯に鶴が舞い降りたことから、長鶴の地名が付けられたと言われています。

### ○参考文献

- ・はままつ町名の由来 (静岡出版社)
- ・あの町この町 遠州地名町名物語・浜松・浜北篇 (ひくまの出版)

※ 紹介している由来は一例で、この他の説もあります。

今月の「東区故事」は、東区役所で就業体験を行った、浜松東高校2年生の無州 亨 佳さんにお手伝いいただきました。



# 東区協議会だより

Vol. 63

7月25日(水)、第4回東区協議会が出席委員20人で開催されました。

## 協議事項について

### 地域力向上事業について

東区区振興課から、助成事業1件、区企画事業1件について説明がありました。

### 助成事業

○大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡市援イベント

### 区企画事業

○「東区・家康公ゆかりの里」推進事業  
〈委員からの質問〉

Q 目的や内容について慎重に吟味するために、経費だけでなく、予算書を添付することはできないのか。

A 採用に必要な予算書を提出してもらい、それを基に区役所の課長以上で構成する行政推進会議で検証を行っている。

Q 大船渡市援イベントで予定しているさんまの配布について、保健所の許可は受けているのか。

A 保健所への届出の確認をしている。

### 平成25年度予算への反映を要求する東区の事業について

東区区振興課から、説明がありました。

### 〈委員からの質問〉

Q 流通元町図書館の充実について、具体的な案があるのか。

A 2階の事務所や展示スペースを、図書館として使用することを要望する。

## 報告事項について

### 災害廃棄物試験焼却の結果について

廃棄物処理施設管理課から、現地視察や試験焼却、住民説明会などについて報告がありました。

### 〈委員からの質問〉

Q 処分場周辺住民の反応はどうか。周辺住民を説得できない場合はどのような対応を行うのか。

A 不安視されている人もいるが、勉強会を開き理解してもらうようにする。

Q 「基準値以内で安全」とは、科学的な根拠があるのか。

A 科学的根拠から十分に安全である。

Q 住民説明会に参加した人数は、全戸数のうち、どの程度の参加なのか。

A 全体数に比べると非常に少ない。今後、広報活動を行っていく。インターネット上でも、説明会の内容を見る事ができるようにしている。

Q 現在処分できずにいる焼却灰はどれくらいあるのか。

A 22〜25トンくらいある。

Q セシウム137の半減期は30年とあるので、経過観察が必要ではないのか。

A 現在、最終処分場における水質などの経過観察を行っている。セシウムについても、徹底して経過観察を行う予定である。